

逗子市人口ビジョンの改訂について

1 現状分析

改訂作業の概要	(1) 最新のデータにより文章・図表を時点修正 (2) 新たな分析項目の追加
改訂内容のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然増減：自然減の状態が続いており、出生数と死亡数の差は年々拡大傾向にある。直近の合計特殊出生率は、1.28(2017年)。 ・ 社会増減：社会増の傾向が続いているが、2018年は減少に転じている。転入超過が多い自治体としては、東京都区部の自治体が多い傾向が続いている。 ・ 追加した項目： <ul style="list-style-type: none"> ①平均初婚年齢・婚姻数及び婚姻率の推移 ②近隣市町における人口移動の状況 ③夫が就業している世帯の妻の就業状況 ④就業者の従業地と居住地の状況 ⑤地域経済循環

2 将来人口

改訂作業の概要	(1) 最新のデータにより文章・図表を時点修正
改訂内容のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 将来人口の推計：今後も減少傾向の見込み。 (2045年 45,225人、2060年 38,831人) 参考 現行の人口ビジョンにおける将来人口の推計 (2045年 45,223人、2060年 37,590人)

3 展望人口

改訂作業の概要	(1) 人口減少社会に対する基本方針 ⇒ 変更しない (2) 人口の将来展望 ⇒ 最新のデータにより文章・図表を時点修正
改訂内容のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 展望人口：2060年 46,495人 (将来展望が達成されない場合：38,831人) 参考 現行の人口ビジョンにおける展望人口 (2060年 46,731人)

<展望人口の推計条件>

出生率：国の長期ビジョンにおいて、2040年(令和22年)には2.07程度まで上昇するとしていることを勘案し、本市においても2050年(令和32年)には2.07まで上昇していくものと仮定。(前回推計条件を準用)

純移動率：国立社会保障・人口問題研究所において行われた「日本の地域別将来推計人口(都道府県・市区町村)」の仮定を準用。併せて、2020年(令和2年)以降の各年齢階級の純移動数が0.5割増加(マイナスの場合は0.5割減少)するものと仮定。(前回推計条件は、2割増加(マイナスの場合は2割減少))